

(西暦) 2016年 6月 1日

当院一般集中治療室に治療目的で入院となった患者さんの 診療情報を用いた臨床研究に対するご協力をお願い

研究責任者	所属 <u>麻酔学教室</u> 職名 <u>講師</u> 氏名 <u>鈴木武志</u> 連絡先電話番号 <u>03-5363-3810</u>
実務責任者	所属 <u>麻酔学教室</u> 職名 <u>講師</u> 氏名 <u>鈴木武志</u> 連絡先電話番号 <u>03-5363-3810</u>

このたび当院では、一般集中治療室に治療目的で入院された患者さんの診療情報を用いた下記の研究を実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。**本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨、研究責任者までご連絡をお願いします。**

1 対象となる方

西暦2016年7月1日より2016年12月31日までの間に、一般集中治療室に24時間以上治療目的にて入院し、診療を受けた方。ただし18歳未満の患者さんは対象外となります。

2 研究課題名

重症患者における急性腎傷害に関する多施設レジストリ

3 研究実施機関

慶應義塾大学医学部麻酔学教室・慶應義塾大学病院一般集中治療室
京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 予防医療学分野 など

4 本研究の意義、目的、方法

集中治療室に入室する重症な患者さんにおいては、様々な原因によって急性腎傷害（AKI）をきたすことがあります。しかし、日本におけるその正確な頻度、治療の実際やその後の経過に関する十分なデータがありません。AKIをきたした一部の患者さんには、対症療法として血液濾過透析を行うことがあります。AKIを改善する治療法はいまだに確立されていないのが現状です。本研究では、日本国内の重症患者におけるAKIに関する診療実態を調査することで、今後のAKI診療の質

の改善を目的とした研究の基盤となる情報を収集することを目的としています。そのために、当院集中治療室に入室した患者さんを対象に、AKIの発症の有無や治療の内容などに関する情報を電子カルテから収集させていただきます。本研究は症例数2000例を目標とし、京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 予防医療学分野が中心となって行われる多施設共同研究であり、当院は症例数200例程度を目標に参加しています。得られたデータは施設間で共有することになりますが、個人情報情報を削除して匿名化されたうえでデータが登録されるため、個人情報情報が漏れることは一切ありません。

5 協力をお願いする内容

対象患者さんの診療情報を、電子カルテから収集させていただきます。

6 本研究の実施期間

西暦 2016 年 7 月 1 日～2016 年 12 月 31 日（予定）

7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報、氏名と患者番号のみです。その他の個人情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものかわからないデータ（匿名化データ）として使用します。
- 3) 患者さんの個人情報と匿名化データを結びつける情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また、倫理委員会に承認された破棄時点で完全に抹消します。
- 4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開いたしません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

研究責任者 所属 麻酔学教室 職名 講師
氏名 鈴木武志
連絡先電話番号 03-5363-3810

以上